

第 51 回日本女性心身医学会学術集会 第 36 回日本女性心身医学会研修会

会場開催

日時 7 月 29 日(土)～30(日)

会場 岡山国際交流センター(岡山市北区)

テーマ メンタルヘルスと社会 多層的で持続可能な支援に向けて

プログラム 会長講演「社会的ハイリスク妊産婦とメンタルヘルス：産科・地域保健・精神科の連携システムで支える」中塚幹也(岡山大学学術研究院)／特別講演「Triple P for Baby: Current Evidence and Future Directions」Alina Morawska (Parenting and Family Support Centre, School of Psychology, The University of Queensland)／シンポジウム 1「周産期メンタルヘルスケア—親子を守り育む多機関・多職種支援を実装するために」山根謙一(九州大学病院), 松田良子(岡山医療センター), 室井晃子(岡山医療センター), 立花良之(国立成育医療研究センター), 寺嶋舞(岡山大学病院), 八田智美(岡山県精神科医療センター)／2「乳がん女性のメンタルヘルスと多職種支援」寺田かおり(秋田大学医学部附属病院), 相良安昭(相良病院), 荻谷朗子(日本赤十字社医療センター), 桜井なおみ(CSR プロジェクト)／3「トランスジェンダーのメンタルヘルス問題への理解と支援」三橋順子(明治大学), 浅沼智也(看護師, 映画監督), 江口珠美(岡山大学大学院), 松本洋輔(岡山大学病院)／4「不妊・不育カップルのメンタルヘルスと支援」松本亜樹子(NPO 法人 Fine), 門田貴子(岡山二人クリニック), 平山史朗(東京リプロダクティブカウンセリングセンター), 片岡久美恵(岡山大学学術研究院)／5「女性のライフステージとメンタルヘルス」枝廣暁(きのこエスポータル病院), 千田真友子(岡山大学病院), 三木知子(岡山大学病院), 高尾総司(岡山大学学術研究院)／ほか

通常登録期間 7 月 19 日(水)～27 日(木)

参加登録方法 下記 Web サイトの参加登録フォームより

HP <https://med-gakkai.jp/jspog51/jizen/>

参加費 (クレジットカード決済のみ) 会員 9000 円, 非会員 1 万 1000 円, 初期研修医, 学生無料
※学生は学生証等の証明書コピーを運営事務局へ提

出。医学部, 看護学部, 保健学部, 心理学部等医療に関連する学部生, および助産学コースの大学院生は無料, ただし, 社会人大学院生は有料

問い合わせ先 運営事務局 株式会社メッド

〒701-0114 岡山県倉敷市松島 1075-3

☎ 086-463-5344

FAX 086-463-5345

✉ jspog51@med-gakkai.org

HP <https://med-gakkai.jp/jspog51/>

第 22 回日本母子看護学会学術集会

会場開催

WEB 開催

日時 8 月 4 日(金)～5 日(土)／現地会場

8 月 6 日(日)～31 日(木)／オンデマンド配信

会場 東京慈恵医科大学国領キャンパス(東京都調布市)

プログラム 集会長講演「多職種連携によるプレコンセプションケア」松永佳子(東京慈恵医科大学)／特別講演 1「女性の生涯を見すえたプレコンセプションケア」西岡笑子(順天堂大学保健看護学部)／2「行政からの支援を受けられない『妊婦』への支援」* 鮫島浩二(さめじまボンディングクリニック)／教育講演 1「計画外妊娠への支援」* 妊娠 SOS の取り組み 土屋真由美(ピッコラーレ)／「若者の人工妊娠中絶と向き合って」松峯寿美, 松峯美貴(東峯婦人クリニック)／シンポジウム「若者を支えるためにどのようにつながるか」* 大谷良子(獨協医科大学埼玉医療センター), 古川直子(TENGA helth care), 坂口眞弓(みどり薬局)／教育講演 2「女性に対する暴力予防の支援」+ 家吉望み(東京有明医療大学)／3「ウィメンズヘルスケア提供のための基盤能力」+ 岡本登美子(ウパウパハウス岡本助産院)／4「多様な性への支援」+ 齋藤益子(関西国際大学), 虎井まさ衛／プレコングレス(市民公開講座)「子宮頸がんの予防のために— HPV ワクチンは必要ですか」齋藤益子(関西国際大学), 菅井敏行(広島大学)

※+ = CLoCMiP® レベルⅢ 必須研修

* = CLoCMiP® レベルⅢ 選択研修

参加登録 [1 次登録] ～7 月 18 日(火), [2 次登録] 7 月 19 日(水)～8 月 4 日(金)

参加費 [1 次登録] 会員 5000 円, 非会員 6000 円, [2 次登録・当日] 会員 6000 円, 非会員 7000 円,

学生(1次, 2次)1000円, オンデマンドのみ4000円

申込方法 下記 Web サイトの参加登録フォームより

問い合わせ先 事務局 高橋愛美

✉ 22ndjmica@gmail.com

HP <https://www.22ndjmica.org/>

第31回母乳育児シンポジウム

会場開催 **WEB開催**

日時 8月26日(土)~27日(日)

会場 広島国際会議場(広島県広島市)

メインテーマ 母乳育児を広め、伝え、守る: 広島から

プログラム シンポジウム1「NICU か始まる母乳育児支援—明日につながる支援を考えよう」福原里恵(県立広島病院), 中村葉子, 田中美佳(れいこ助産院), 船場友木(訪問看護ステーションフレ), 杉野由佳(聖隷浜松病院), 呉東祐(加古川中央市民病院) / 2「明日から始められる母乳育児支援の実践—山内3.5カ条, そして10カ条を考える」長屋建(旭川医科大学), 三浦満(土谷総合病院), 吉田望(西条中央病院), 志賀昌子(熊本市市民病院), 有森陽子(国立病院機構岡山医療センター) / 特別講演①「生殖技術と親になること」柘植あづみ(明治学院大学社会学部教授) / 市民公開講座 特別講演②「原爆の日から繋がれた命を思う」小島和子, 田中敬子(KEI 助産院) / 「母乳育児にやさしい社会を目指して—父親, 企業, 自治体から」 / ほか

参加費 会員1万円, 未会員1万2000円, 学生3000円, 母親・父親(医療者, 専門家, 有資格者以外)3000円

申込方法 下記 E-mail アドレス, あるいは FAX, 郵送で申込書を送付, または下記 Web サイトより

✉ moushikomi@bonyu.or.jp

HP <https://31sympo.peatix.com>

申込・問い合わせ先 日本母乳の会事務局

〒165-0026 東京都中野区新井3-9-4

TEL 03-5318-7383

FAX 03-5318-7384

HP <http://www.bonyu.or.jp/>

日本フォレンジック看護学会 第10回学術集会

会場開催 **WEB開催**

日時 8月27日(日)~28日(月) / 現地会場

9月1日(金)~10月9日(月・祝) / オンデマンド配信

会場 和歌山県立医科大学保健看護学部三葛キャンパス(和歌山県和歌山市)

テーマ 暴力を防ぐポピュレーション / ハイリスクアプローチ

プログラム 大会長講演「暴力を防ぐポピュレーション / ハイリスクアプローチ」池田理恵(和歌山県立医科大学保健看護学部教授) / 10周年記念講演「10周年お祝いのメッセージ」ヴァージニア・リンチ / 「わたしたちの10年の歩み」加納尚美(日本フォレンジック看護学会理事長, 茨城県立医療大学教授) / シンポジウム「乳幼児の突然死とフォレンジック看護」大屋夕希子(日本フォレンジック看護学会理事), 池田理恵(和歌山県立医科大学教授) / 講演Ⅰ「乳幼児の突然死の手続きと死因究明」近藤稔和(和歌山県立医科大学法医学講座教授) / Ⅱ「不同意性交等罪の施行と被害者支援の課題」山本潤(日本フォレンジック看護学会理事) / Ⅲ「性暴力サバイバーが出産するとき」白井千晶(静岡大学人文社会科学部社会学科教授) / Ⅳ「子どもの生命の安全教育」浦尚子(福岡被害者支援センター長) / Ⅴ「性的同意のワークショップを実施して」本田義明(慶應義塾大学非公認団体 Safe Campus)

参加費 [8月10日まで] 会員8000円, 非会員1万円, [8月11日(金)~9月20日(水)] 会員1万円, 非会員1万2000円, 学生無料
※学生は学生証を提示(大学院生除く)

参加登録方法 学術集会専用サイトより

参加登録締切 9月20日(水)

問い合わせ先

✉ 10th-wakayama@jafn.jp

HP <https://10th-wakayama.jafn.jp/>

※掲載している情報は6月30日時点のものです。最新の情報は主催元にご確認ください。